

前回テーマ（親ガイダンス）に対する主な意見と改善状況（速報）

<いただいた主な意見（抜粋）>

<改善状況>

<p>集団ガイダンスの参加者増加に向けた意見</p>	<p>案内文書やウェブページにおいて、受講のメリットや効果を具体的に伝えた方がよい。例えば、受講者や調停委員の言葉として紹介してはどうか。</p> <p>60分以下のプログラムを工夫し、調停期日の調停開始前に受講できるようにしてはどうか。</p>	<p><u>送付用チラシ（案内文書）の改善</u> ①ガイダンスでどのようなことをするのか、受講するとどのようなことが得られるのかを、簡潔に具体的に伝える。 ②タイトル、吹き出し、ガイダンスの内容説明を変更し、どのような疑問が解消されるのか、どのようなことについてヒントが得られるのかを示す。受講者の感想を載せる。 第1回調停期日当日に未受講者に対して調停委員が交付するチラシの改善 送付用チラシの改善に合わせて、より分かりやすくし、ガイダンスの魅力が明確になるようにする。 広報活動 今後の広報行事の活用など検討を継続していく。</p> <p><u>調停開始時刻前の実施検討の取扱い</u> 午前9時からの開始とするには職員の出勤など検討すべき点が残り、週1回の実施であるため調停の開廷日との関係で効果が限定的になる可能性があることも踏まえ、この論点については今後も検討を継続する。</p>
<p>ガイダンスの内容充実に向けた意見</p>	<p>父母が互いに尊重、協力する姿勢の大切さがより伝わるようにするために、事案に応じて、求められるゴールや説明の仕方を変えてはどうか。</p> <p>講義内容の「自分自身の安定」について、リラックス法やアンガーマネジメントに触れていることはよいので、これを更に深めてはどうか。</p> <p>講義内容について、「子どもが安定して学校生活や思春期を迎えていく大事なポイントになるので」と強調するのもよいのではないか。その際、親が離婚途上又は離婚後の子どもには、情緒不安定さや問題行動が見られることについて、保育士や教育関係者から聞き取って、講義に生かしてはどうか。</p> <p>講義内容について、親として、子どもに対してどうして離婚したのかについてフラットな形で、そして、あなたのことをきちんと意識しているよと、きちんと答えられるようになるかが、親ガイダンスの効果として重要ではないか。</p>	<p>講義内容について、次のとおり改善する。 全体のキーメッセージ DVDと講義の全体で、「親が子どもの心情を理解し、落ち着いて子どもに接したり離婚について話し合えるようになるためのポイント」を伝える。 父母関係 ・父母としての新たな関係について、子どもへの影響から考えて、まず考えるべきことに焦点化して説明する。その第一歩として、『父母の葛藤を子に見せない。他方への負の感情を子の前で出さない。』から始めましょう。」というメッセージを伝える。面会交流の具体例を、そのメッセージが伝わる内容とする。 情報の整理 ・DVDとの不要な重複は避けつつ、子どもに対応する際に重要なポイントを付加する（「愛情、安定、安心」など）。また、「調停での話し合い」につなげる部分は講義で説明する。 ・父母の紛争に巻き込まれないことで、子どもは安定し、本来すべきことができるようになることを、DVDの内容と関連付けながら、家裁実務から言えることも付加して、具体的に伝える。そして、子どもが安定すると、それにより父母も気持ち楽になることも伝える。 具体例 ・調停を通じて父母の姿勢が変化した例を示す。 ・話し合いに望まれる姿勢についてイメージを用いて伝える。 ワークの一部導入 ・受講者が自分自身に引き付けて子のことを考えたりできるように、個人ワークを二つ新設する。いずれも1～2分で、パンフレットに新たに設ける記載欄に書いてもらう。 ①「親自身の状態を知る」セクションで、「自分を安定させるためにあなたができることを書いてみましょう。」というワークを行う。 ②「子どものことを考える」セクションで、子どもの気持ちについて考えるワークを行う。</p>
<p>調停への活用に関する意見</p>	<p>振り返りツールを検討してはどうか。具体的には次のとおり。 ・親としての自覚にどのような変化が生まれたかを問う。 ・受講者に負担にならず、自分に引き寄せて考えられる方法（例えば、子へのメッセージを書いてもらうなど）を工夫する。</p>	<p><u>ワークの導入</u> 前述の②のキを参照。ワークをすることで当事者が主体的に考え、調停に向けて考えを整理していけるようにし、後述の「ふりかえりシート」の記入に向けて準備を促す。 ふりかえりシートの新設 記名式のシートを新設する。講義終了時に記入を求め、当事者の気付きや受け止めに調停に生かせるようにする。</p>